

## VI 「漁海況長期変動と予想の問題」に関する座談会

主 催 水産海洋研究会

日 時 : 昭和45年1月9日(金) 1000-1700

会 場 : 東海大学海洋学部会議室

コンピナー: 奈 須 敬 二 (遠洋水研)

### 話 題

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 浮魚資源の長期変動傾向について      | 三 谷 文 夫 (遠洋水研)    |
| 2. 日本近海沿岸重要水産資源の交替について  | 中 井 甚 二 郎 (東 海 大) |
| 3. 南西海域における漁況の長期変動について  | 浅 見 忠 彦 (南西水研)    |
| 4. テングサ漁獲量の年変動について      | 五十嵐 正 治 (静岡水試)    |
| 5. クロマグロの資源変動と海況変動      | 山 中 一 (遠洋水研)      |
| 6. 西太平洋におけるマグロ年級変動と海況変動 | 山 中 一 郎 (遠洋水研)    |
| 7. 世界海洋とくに日本近海の海況変動について | 宇 田 道 隆 (東 海 大)   |
| 総合討論                    |                   |

### 1. 浮魚資源の長期変動傾向について

三 谷 文 夫 (遠洋水産研究所)

日本周辺の暖流系 plankton-feeder はイワシ・アジ・サバ・サンマの4グループによつて代表される。このグループ内における魚種間の変動を農林統計に基づいて考察してみよう。

図1は1912年(大正元年)以降のイワシ・アジ・サバ・サンマの漁獲量の合計値と、そのなかでイワシ類の漁獲量とを図示したものである。以下、図1について、2つのヤマと1つの谷を中心に検討を加える。